



2023年10月18日

各 位

会 社 名 株式会社ヴィア・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 楠元 健一郎
(コード7918、東証プライム市場)
問 い 合 せ 先 執行役員経営推進室長 羽根英臣
電 話 番 号 03-5155-6801

2024年3月期第2四半期の連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月12日に公表しました2024年3月期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期第2四半期連結業績予想 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,600	△20	△80	△130	△3.39
今回修正予想(B)	8,435	77	47	△30	△0.73
増減額 (B-A)	△165	97	127	100	
増減率 (%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期中間)	7,006	△563	△589	△537	△15.56

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会経済活動の再開による人流の増加等によって、業績は回復基調で推移してまいりました。しかしながら、客数については、回復途上にはあるものの想定した数値には至らず、売上高は計画を下回る結果となりました。

一方、コスト面では、店舗オペレーションや商品開発の見直しなど新たな収益構造改革構築への取組みにより、原価等の変動経費のコントロールの改善が進みました。加えて、政府による光熱費の負担軽減支援等もあり、売上原価及び販売管理費は計画値を下回りました。その結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は前回予想を上回る見通しとなりました。

第3四半期以降の売上高は、引き続き客数獲得に向けた施策を中心に展開することで、前回予想通りに推移すると見込んでいます。コスト面では、原材料費や時給単価などが引き続き上昇しており、事業環境は先行き不透明な状況が継続していることから、2024年3月期通期連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想数値を据え置くことにいたします。

以 上